



<プレスリリース>

2015年9月29日

報道関係者各位

CYBERDYNE 株式会社
代表取締役社長 山海嘉之

羽田空港国内線旅客ターミナルに次世代型ロボット導入！ ～HAL[®]作業支援用、搬送ロボット、クリーンロボットが始動～

この度、羽田空港国内線旅客ターミナルビルにおいて、当社のロボットスーツ HAL[®]等が導入されます。これを皮切りに、サイバニクス技術を駆使した次世代型ロボットを活用した未来の空港の創出に向けて取り組んでまいります。

1. 導入経緯

日本の玄関口である羽田空港から日本の先端技術を発信していくこと、また、空港利用者に対する安全・安心・便利を前提とした良質なサービスを提供すること、および、空港従業員がより健康的に働きやすい環境を創出することを目的として、本年7月2日に日本空港ビルディング株式会社と次世代型ロボット導入等に関する基本合意書を締結し、羽田空港国内線旅客ターミナルにおけるロボットの活用に向け実証実験を行ってまいりました。今般、次のステージに向けて、HAL[®]作業支援用、搬送ロボット、クリーンロボットの実際の運用が始まります。

2. 今回導入されるロボットと対象作業

(1) HAL[®]作業支援用(腰タイプ)×3台

対象作業: 物流関連作業、物販店における商品補充、リムジンバスの荷物積み込み・下ろし

(2) 搬送ロボット×3台

対象作業: 地下倉庫間における荷物搬送

(3) クリーンロボット×5台

対象作業: 空港内清掃、店舗等の床清掃

3. 導入開始日

2015年8月からパイロット試験として現場実装を行い、2015年9月30日(水)より導入開始

4. 今後の展開について

今回の導入により、空港におけるロボット活用の効果や課題等を把握し、対象作業や作業エリアを拡大して導入台数の増加を図るとともに、未来の空港のあり方を見据え、空港の省力化・高度化等を目的とする新しいロボットの研究開発について、日本空港ビルディング株式会社と取り組んでまいります。

引き続き、羽田空港全体として各関係者と連携しながら「世界に先駆けた、空港におけるロボット技術活用の未来像」を創出し、より魅力ある羽田空港の発展に貢献してまいります。



羽田空港に導入される当社ロボット(イメージ)



HAL[®]作業支援用と搬送ロボット

クリーンロボット

会社概要:

社 名 CYBERDYNE 株式会社(サイバーダイン)
住 所 茨城県つくば市学園南2丁目2番地1
資本金等 165億11百万円
設 立 2004年6月24日
事業内容 ロボットスーツの開発・製造・販売
証券コード 7779

お問い合わせ先:

CYBERDYNE 株式会社
<http://www.cyberdyne.jp>
TEL (029) 869-9981(広報・IR)
media@cyberdyne.jp(広報)
ir@cyberdyne.jp(IR)
担当: 田中、木村、宇賀